

報道関係者各位

コロナ禍の中、たくさんのつながりに支えられて1周年—食品ロスと仕事づくりに取り組む「夜のパン屋さん」が、店舗数拡大に挑戦します



小さいながらも食品ロスを減らしながら、仕事（収入）の機会をつくることを目標として昨年10月16日の世界食糧デーにスタートした「夜のパン屋さん」。朝早くから営業するパン屋さんと提携し、営業終了間際に売れ残りそうなパンを引き取って販売をするこの取り組みの1年間の歩みと次のステップについてご報告します。

1年間で協力パン屋さんは都内を中心に6店舗から14店舗と2.3倍に。

全国13都道府県の路上で雑誌販売をするという仕事をつくり、ホームレス状態の人に「すぐにできる仕事（収入）」を提供しながら、当事者とともにホームレスや貧困問題の解決に取り組んできた有限会社ビッグイシュー日本。

去年の、WHO パンデミック宣言（3月11日）後、緊急事態宣言（20.4.7）が発出され「ステイホーム」や「営業自粛」が叫ばれる中、路上での雑誌販売が苦戦する一方で、生活に困り相談に訪れる人の数は急増しました。その日の食事にも事欠く人たちが増える一方で、日本では食品が大量に廃棄されている。大切に作られた食べ物を預かって、最後まで無駄にせず、そして同時に仕事を生み出していくことができないか。そんな想いから「夜のパン屋さん」が生まれました。

ボランティアでかかわってくださるアドバイザーの皆さんとビッグイシュー販売者、最初に参加をご快諾くださった6店舗のパン屋さんとともに、神楽坂で本屋兼カフェを営む「かもめブックス」軒先をお借りしてはじまった小さな取り組みですが、この1年間で参加パン屋さんは14店舗に増えました。都内が中心ですが、遠くは北海道から静岡まで、個性のあるパン屋さんが参加をくださっています。10月からは島根からを含め、さらに増える予定です。

さらに広がる販売拠点と協働の取り組み

ピックアップにかかわる人たちの中には保険証がなくて気軽に医療が受けられなかったり、「自宅」がない状況の人もいます。そのような状況下で新型コロナ感染爆発が起こるたびに、度々の休業を余儀なくされました。休業中は、「無償でも」と提供を継続してくださるパン屋さんからピックアップをして炊き出しや無料学習支援の場などにお届けすることで「仕事の間」を継続させながら、コロナ過で困窮する方々へ美味しいパンを届けてきました。

来る10月、5日と6日から、いずれもこの取り組みに共感をしてくださる場所で新たな「夜のパン屋さん」がスタートします。参加のパン屋さんも増える見込みです。長期化するコロナ過の中でよりたくさんの方々と協働をしながら、さらなる「小商い」の場づくりに挑戦します。

引き続き関心をもっていただきご協力をいただけますよう、どうぞよろしく願いいたします。

〈お問い合わせ先〉

夜のパン屋さん事務局：野村きさら (bi-bread@bigissue.jp)

ビッグイシュー日本東京事務所：佐野未来 (Tel.03-6802-6073 / m.sano@bigissue.jp)

(参考資料)

《夜のパン屋さんについて》

20年10月16日スタート。貧困と社会的排除の解決にビジネスの手法を用いて取り組むビッグイシュー日本がコロナ禍の中で立ち上げた新たな「仕事づくり」のプロジェクト。パン屋さんと連携して、売れ残ってしまいそうなパンを有償で引き取り「夜のパン屋さん」店舗で販売、パンを捨てずに売り・食べきると同時に、パンの回収と販売という新たな仕事を創っている。買う人にとっては、日替わりで様々なパン屋さんのおいしいパンを選んで購入する楽しみがあるお店となっている。※10月16日は世界に広がる食料問題や飢餓、極度の貧困を考え、解決していくことを目的として制定された世界食糧デー

■本店：毎週火・木・金 19時半-22時（コロナ禍がおさまるまでの時短営業時間 19-21時）
かもめブックス（東京都新宿区矢来町123 第一矢来ビル1階）

1周年となる10月からは、下記の場所のご協力のもと、キッチンカーによる2号店販売がスタートします。

■10月6日より毎週水・金・土 19時-21時（期間限定、詳しい営業日はSNS (@yorupan2020) をご覧ください）
代官山 T-SITE（東京都渋谷区猿楽町16-15） <https://store.tsite.jp/daikanyama/>
■10月5日より毎週火曜日 17-20時
飯田橋第一パークファミリア（東京都 新宿区 新小川町）

《ビッグイシュー日本とは》

“路上での雑誌販売という仕事の提供を通じて、ホームレスの人々の自立を応援する”という目的のもと、大阪で創業。03年9月に『ビッグイシュー日本版』を創刊。販売者になれるのは、安定した住居を持たないホームレス状態、もしくは家を失う可能性がある人々。販売者は雑誌『ビッグイシュー』を220円で仕入れて450円で路上販売する。07年にはNPO法人ビッグイシュー基金を立ち上げ、ともに「ホームレス・貧困問題を解決し、誰もが生きやすい社会をつくる」ことを目指す。

- ・社名：有限会社ビッグイシュー日本
- ・雑誌『ビッグイシュー日本版』発行日：毎月1日、15日／累計販売部数：911万冊（2021年3月末時点）
- ・販売者への提供収入額：14億1448万円 ・延べ登録者数：1957人 ・卒業者数：205人
- ・現販売者数：109人（すべて21年3月末時点）※13都道府県で販売中
- ・当社サイト：<https://www.bigissue.jp>（公式Facebook、Twitter、Instagramあります）

《夜のパン屋さんメンバー》

■企画・進行

枝元なほみ／料理研究家、一般社団法人チームむかご代表、認定NPO法人ビッグイシュー基金共同代表

■アドバイザー

北村貴／株式会社グロッシー代表取締役 <http://www.glossy.co.jp>

當仲寛哲／有限会社ユニバーサル・シェル・プログラミング研究所代表取締役

平石陽子／有限会社ユニバーサル・シェル・プログラミング研究所 <https://www.usp-lab.com/opinion.html>

■事務局：ビッグイシュー日本東京事務所 担当：佐野／野村

■立ち上げ協力メンバー：K・M、浜岡、西

■店舗協力：神楽坂かもめブックス／代官山 T-SITE／飯田橋第二パークファミリア

■協力パン屋（9月22日現在）

- ① BEAVER BREAD（ビーバーブレッド）／馬喰横山駅から徒歩3分、東日本橋駅から徒歩5分
- ② ラトリエココ（L'atelier cocco）／白金高輪駅から徒歩7分
- ③ 焼きたてベーカリー ナカノヤ／江戸川橋駅から徒歩4分
- ④ Universal Bakes and Café（ユニバーサル バイクス アンド カフェ）／世田谷代田駅から徒歩1分
- ⑤ パン家のどん助／東新宿駅から徒歩4分
- ⑥ カフェ・プラネット・ショコラ 銀座店／キッチンカー・プラネット号（有楽町店）
- ⑦ BAKER'S Pantry（ベーカーズパントリー）／駒沢大学駅から徒歩8分
- ⑧ PAN AU SOURIRE（パン・オ・スリール）／青山通りから60メートル
- ⑨ PISTRINA DIO（ピストリーナ ディオ）／王子駅から徒歩5分
- ⑩ エスプリドゥ 江戸川区
- ⑪ ル・ミトロン 目白店・小石川店
- ⑫ ラトリエ テンポ 浜松市中区蛸塚
- ⑬ one too many mornings（ワントゥーマニーモーニングス）／静岡県磐田市
- ⑭ toi（トイ）／北海道十勝